

くまもと戦跡ネット出前平和講座

〈戦後81年・合志の戦争を知ろう！〉実施計画案

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク

- 1 活動名 **〈戦後81年 合志の戦争を知ろう！〉**
～フィールドワーク、講話と戦時資料から戦争の実相と平和希求を学ぶ、
修学旅行事前学習～
- 2 日時 **令和8年9月4日（金）2～4時限 9時25分～12時05分**
- 3 場所 **合志市立合志楓の森小学校 二階 多目的室**
合志市栄3793番地5 TEL 096-245-6638
- 4 対象 **合志楓の森小学校6年児童 139名（4学級）**
※6年部学年主任 鮫島香織先生
※単元担当：岡田章吾先生、島田先生、高宗先生、山田先生、山崎先生
- 5 講師 **くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷 和生**
合志市生涯学習課 前田純子様、合志歴史資料館長

6 日程・進行等

(1) 開会・挨拶・紹介 [9:25]

(2) 戦争に勝つために！「陸軍黒石原飛行場」のこと [高谷・9:30～10:10]

ア 黒石原飛行場を知る！

**合志楓の森小学校は「旧陸軍黒石原飛行場」
のなかに、あったってほんと！**

- ☐ どうして黒石原に飛行場がつけられたの
- ☐ 民間パイロット等の養成学校「旧逓信省熊本航空機乗員養成所」とは
- ☐ 陸軍大刀洗飛行学校黒石原教育隊が開校した
- ☐ どのような訓練を、どんな人たちが受けていたの
- ☐ 飛行場に空襲はあったの、犠牲者はいたの
- ☐ 特攻隊はいたの、出撃したの



旧逓信省航空機乗員養成所での訓練

イ 空襲から、原爆投下へ！ 地続きの空襲とは

- ☐ 黒石原飛行場への空襲 軍事基地・拠点施設へ
- ☐ 大規模都市空襲から中小都市、さらに地方都市へ
- ☐ **原爆投下目標 16地点と候補地の一つとなった「熊本・KUMAMOTO」**

ウ 進駐軍は「恵楓園」で何を見たのか！

「戦後進駐軍が何度も訪れた菊池恵楓園」

- ☐ **撮影は米第二海兵師団撮影クルー、意図は**
- ☐ 恵楓園は、どう進駐軍と向いあったのか
- ☐ 全国の療養所で2例目となる、貴重な撮影映像
視聴 16³カラー映像の放映、白黒写真の紹介
(約9分間・音声無し)



戦後書かれた英字看板「菊池恵楓園」

(3) 休息・水分補給 [10:10～10:20]

(4) 合志市の文化財を残すこと、守り伝えること [前田 他・10:20～10:40]

- ☐ 合志の近現代の歴史・文化財のこと
- ☐ 地域にのこされた戦争遺跡・遺産「黒石原奉安殿」のこと

(5) 戦時資料と暮らしの道具の紹介

～戦争の日常を身近に感じてみよう！～ [高谷・10:40～11:10]

- 体験1 戦時・銃後の婦人 **6-1組・女子（ ）**
「もんぺはどんな着心地かな！ 動きやすい！防空頭巾で命は守れるの！」
○女性用もんぺ、上着、防空頭巾、雑嚢、防毒マスク、婦人会たすき 他
- 体験2 戦時の空襲 **6-2組・男子（ ）**
「焼夷弾ってなに！ 落ちたらどうなるの！ 合志に空襲はあったの！」

- M69焼夷弾、紙の爆弾「伝単（でんたん）」複製
- 空襲警報看板、警報サイレン、警防団アルマイト製鉄帽、紙製鉄帽、消火弾、灯火管制笠・電球 他

体験3 学用品から見る戦争 6-3組・4組 男子もしくは女子（ ）
「軍国少年・少女の育成に向けて！ 戦時色・柄にあふれた学校と生活！」

- 紙製ランドセル、「修身」教科書、キンダーブック、筆箱、東郷鉛筆、東郷人形、王様クレヨン、画学紙、戦時柄画板 他

(6) 戦争と平和の学習での質問

[11:10~11:30]

- これまでの学習での疑問点等を発表する
- 長崎だけで戦争があったのではなく、身近な場所に「戦争の傷跡」が残されていることに気づく！
- 空襲という戦争の究極が「原爆」投下！
- 被爆地「ナガサキ」とのはじめての出会い！

紹介 『トランクのなかの日本』とローマ法王「平和のメッセージ」カード

- 「NAGASAKI 平和な世界に向けて、絶対、二度と戦争をおこしてはいけない！」

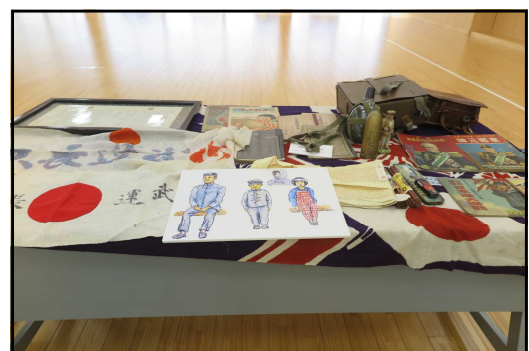
(7) 感想発表・謝辞・閉会

[11:30~11:40]

※終了後は、各教室に移動して学習シート整理や感想まとめ

7 その他

- 長崎方面修学旅行は「9月28日・29日」である。
- 今年度は、出前平和講座実施日が9月4日と酷暑が予想されることから、児童の安全管理上からフィールドワークは実施しない。
- 学年部で、当日の児童用ワークシートを作成する。
- プレゼンデータ等の各種データは、単元担当の岡田先生と確認を進める。
- 平和継承リーフレット『黒石原飛行場と奉安殿』『黒石原奉安殿』は、提供枚数が無いことから、貸出しパネルで紹介する。
- A1版アルミフレームパネル「黒石原飛行場と奉安殿」他は、打合せ時に貸出する。
- 児童・職員用に本会作成の平和継承リーフレット『進駐軍の見た熊本 II』『空襲下の熊本』『菊池の空から』『菊池の空から II』『菊池飛行場を活写する』を150部提供する。
- 準備物：楓の森小：パソコン（パワーポイント入り）、プロジェクター、マイク、戦時資料展示机4台
- 展示物：防空ずきん、戦時学用品他 約60点
- 当日、高谷は8時半頃に来校し、会場を準備する。
- 活動紹介のため、報道機関への連絡は、学校及びくまもと戦跡ネットの双方より行う
- ご取材の報道機関は、事前に「岩木教頭」までご連絡ください。



令和7年度「出前平和講座」の様子

□高谷によるプレゼン

□戦時資料等の展示



連絡先

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷 和生

□〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5

□携帯 090-1513-5528

□メールアドレス takayanagi912@yahoo.co.jp

□会HP <https://kumamoto-senseki.net/>

令和6年(2024年)11月3日 日曜日

【核兵器】

ことしのノーベル平和賞は、広島や長崎で原子爆弾（原爆）の被害にあった人たちがつくる日本原水爆被害者団体協議会（被団協）におくられます。「核兵器」をなくすよう、世界にうったえる活動がみとめられました。

核兵器には原爆や水素爆弾（水爆）などがあります。原爆は、ウランなどの物質にある小さな原子核がわける反応を利用し、高い熱や強い爆風、強い放射線を出す兵器です。水素爆は、原爆を使って水素などの原子核をむすびつけ、原爆より強大なエネルギーを出すおそろしい兵器です。

1945年8月、日本と戦っていたアメリカが広島と長崎に落とした原爆で、その年末まで

世界に今も1万以上…心配する声

に計約21万人が亡くなったとされます。戦後にはアメリカとソ連（今のロシア）が核兵器の開発をきそい、アメリカの水爆実験のため、太平洋で日本の漁船員が放射性物質をあびる事件も起きました。

世界には今も1万以上の核兵器があり、各地で争いが続く、核兵器が使われる心配もあります。

戦争で原爆の被害を受けた日本は、地球上から核兵器をなくすための行動を求められています。

ニュースのヒント

長崎に投下された原子爆弾の模型
＝2015年、長崎市の長崎原爆資料館

7年(2025年)10月25日 土曜日

地域の戦争遺跡 触れて学んで

合志楓の森小 児童が見学

合志楓の森小（合志市）の6年生約100人が21日、11月の長崎修学旅行を前に、地域に残る戦争遺跡を訪れて平和や戦争に思いを巡らせた。戦争遺跡・風舞成所（黒石原飛行場）が、文化遺産ネットワークの高谷和生代表が講師を務めた。高谷さんは講話で、同小を含む一帯に旧通信隊本航空機庫・風舞成所（黒石原飛行場）が、学校近くに残る奉安殿の跡を見学する合志楓の森小の児童ら＝21日、合志市

山鹿池志
山菊合

つたと説明。天皇・皇后の真実や教育勅諭を学んだ奉安殿が、残っている。これに、一帯には約500の奉安殿が残るが、熊本県内で当時の場所にあるのは「こけり」と伝えた。その後、児童らは奉安殿まで移動。「懸えないよう木に作られている」との高谷さんの案内を聞き、一帯に「なごみ」に触れあっていた。

周辺には陸軍が使用した兵舎の基礎コンクリート跡も残っており、児童らは興味深そうに見学。高谷さんは「身近な所に戦争の痕跡がある。息下校の時に覚えて」と呼びかけた。

（上村彩織）

熊本地震から10年 くまもと戦争遺産被災レスキュー展

令和8年(2026) 入場無料
7.22(水) - 9.13(日)

玉名市立歴史博物館こころピア
レクチャールーム・エントランスホール
玉名市岩崎1-17 0968-74-3989

熊手組サトル「星の子」作品 平和

平成28年4月に発生した熊本地震から10年を迎え、地震で被災した県内戦争遺産の解体や現状を紹介。また、建物解体に伴い、個人が所蔵されていた戦時資料レスキュー活動（熊本・阿蘇・宇城・八代）での収集品約80点を紹介します。

大森達也「大森達也」作品

被災し解体された熊本市南区「熊本市行徳油庫」

熊本市中央区高橋公園内の「第六師団長官舎門」現存状況

熊本市行徳町「新堂に在る」の現存状況

くまもと戦争遺産・文化遺産ネットワーク